

奄美大島 に行きたい

写真 / 別府 亮 山下 弘 勝 廣光

青い海と白い砂の海岸線、
幻想的な風景が広がる奥深い山々...
奄美の美しい絶景を紹介します。



CONTENTS

奄美大島を知ろう。	2	奄美の海岸	
奄美の美しい海	8	01 土盛海岸	62
奄美の絶景	18	02 国直海岸	64
奄美大島 絶景マップ	20	03 ヤドリ浜	66
眺望ポイント		04 タエン浜	67
01 高知山展望台／油井岳展望台	22	05 屋鈍海岸	68
02 曾津高崎灯台と西古見	24	06 ホノホシ海岸	69
03 マネン崎展望台	25	07 ビラビーチ	70
04 笠利崎灯台	26	08 手広海岸	72
05 ふれあいパーク戸円	28	09 倉崎海岸	73
06 今里の岬	29	10 大浜海浜公園	74
07 峰田山公園	30	11 用安・神の子海岸	76
08 長雲岬のドラゴントリデ	32	12 崎原海岸	77
09 あやまる岬	34	13 打田原海岸	78
10 国定公園 宮古崎	36	14 かくれ浜	79
11 蒲生崎	37	奄美の希少な動植物	80
奄美の山と森		01 アマミノクロウサギ	82
01 湯湾岳展望台	38	02 ケナガネズミ	82
02 マングローブ原生林	40	03 イボイモリ	83
03 篠穂の滝	42	04 アマミイシカワガエル	83
04 タンギョの滝	44	05 オカヤドカリ	84
05 マテリヤの滝	45	06 アカヒゲ	84
06 アランガチの滝	46	07 ルリカケス	85
07 徳浜の断崖	47	08 オオトラツグミ	85
08 安木屋場ソテツ群生地	48	09 ガジュマル	86
09 金作原生林	50	10 デイゴ	86
奄美の島々		11 カンヒザクラ (ヒカンザクラ)	87
01 加計呂麻島	52	12 マングローブ	88
武名のガジュマル	54	13 野生ラン	89
諸鈍のデイゴ並木	56	14 ヤマコンニャク	90
渡連海岸	57	15 ユワンツチトリモチ	90
02 与路島	58	16 リュウキュウコケリンドウ	91
ハミヤ島	60	17 ワダツミノキ	91
03 請島	61	奄美の自然を満喫	92



奄美大島を知ろう。

訪れる前に知っておきたい奄美大島のあれこれ。島の歴史や文化から観光情報まで詳しく紹介しよう!!

02 奄美大島の歴史と文化

旧石器時代から始まる人々の生活

奄美群島での人の痕跡は、徳之島のアマングスク遺跡で、およそ3万年前の旧石器時代の石器が出土している。奄美大島では、約2万1000年前の土浜ヤー遺跡などが発見されており、この頃からすでに奄美群島では人々が生活していた。日本書記にも登場しており、「海見嶋」「阿麻弥人」などと記録されている。

グスク時代と平家伝説

11世紀になると、集落ごとにグスク(御城、古琉球時代の城)が築かれ、按司と呼ばれる領主によって統制されていた。

1185年、壇ノ浦の戦いで破れた平家が奄美群島まで逃れ、統治したといわれており、今も各地に平家伝説が数多く残されている。なかでも、名瀬の平有盛神社、龍郷町の平行盛神社、平資盛を祭る加計呂麻島の大屯神社は有名だ。また、伝統行事の諸鈍シバヤは、平資盛が土地の住人との交流のために芸能を披露したのが始まりといわれている。

琉球王国とノロ

1477年、琉球王国で尚真が即位すると、強固な中央集権制を確立し、ノロ制度を導入した。女性司祭であるノロは、公的な神女組織であり、国家行事を司っていた。今日の奄美群島でもノロにまつわる行事が残っており、龍郷町秋名の平瀬マンカイは全国的に広く知られている。

薩摩藩に支配された時代

1603年、江戸幕府が開かれ、薩摩藩が琉球王国を征討すると、奄美群島も領土となった。薩摩藩は強制的にサトウキビ栽培を推し進め、サトウキビから採れる黒砂糖を幕府や商人に専売することで富を得ていたようだ。この頃、現在の特産品の1つである黒糖焼酎の原形が誕生したとされる。

明治時代から現代へ、日本復帰60周年

1871年の廃藩置県で薩摩藩が廃され、奄美群島は鹿児島県となった。

1945年8月15日、第二次世界大戦で日本が降伏し、終戦を迎えると、奄美群島はアメリカの統治下に置かれた。その直後から復帰運動が始まり、徐々に激しさを増していった。1952年の平和条約によって日本の主権が回復すると、アメリカは、基地が少なく復帰運動の激しい奄美群島の統治を諦め、1953年12月25日に返還された。

2013年は、奄美群島が日本に復帰して60周年を迎える年である。

01 奄美大島の地理

奄美大島は、鹿児島県本土と沖縄県の上に位置する奄美群島に属しており、面積は約712km²で周囲約461km、日本の離島の中で、択捉島、国後島、佐渡島に次いで4番目の大きさである。奄美大島のほかに加計呂麻島、請島、与路島、喜界島、徳之島、沖永良部島、与論島の8つが有人島だ。

奄美大島の行政は、奄美市(名瀬、笠利町、住用町)、大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町の1市2町2村で構成されており、約6万6000人が暮らしている。なお、加計呂麻島、請島、与路島も行政上は瀬戸内町に含まれる。行政機関や文化施設、商業施設は島の西北部に位置する奄美市名瀬に集中している。また、名瀬港は奄美群島で唯一の重要港湾であり貨客船の出入りも頻繁だ。近隣の島々や鹿児島県本土、沖縄県に行く船もここから出航しており、鹿児島港まで約383km、那覇港までは約350km離れている。

島の地形は全体的に複雑な形をしており、北部は山の少ないなだらかな地形で、美しい砂浜の海岸線が続く。また、平坦な土地を利用して、サトウキビ栽培が盛んに行われている。中南部の大半は山岳で占められており、最高峰である標高694mの湯湾岳、400m級の油井岳、松長山、鳥ヶ峰岳などと共に本島の脊柱部を構成している。南部の海岸線では入り組んだ地形を利用してクルマエビや魚類、真珠の養殖が盛んだ。



サンゴに群れるカラフルな熱帯魚
たち。(加計呂麻島)



奄美の 美しい海

豊かなサンゴ礁に囲まれた
奄美の美しい海。
白い砂浜にはアダンが茂り、
エメラルドブルーの海には
色鮮やかな魚たちが泳ぐ。
楽園のような景色が、
奄美には実在する……。



鮮やかな黄色のイソギンチャクと共生するクマノミの家族。(ヤドリ浜)



奄美大島の海の特徴

奄美大島の魅力といえば、なんといってもその美しい海。東に太平洋、西に東シナ海を望み、島を取り囲むリアス式海岸の大部分にサンゴ礁が広がっている。弧を描く白い砂浜にエメラルドグリーンのが続く景観は、頭の中で思い描く「南の島」そのものだ。平均二〇〜三〇メートルという高い透明度を誇る海に潜れば、色鮮やかな魚たちが泳ぎ回る姿を、すぐそばで見ることが出来る。

エリアは大きく分けて、東シナ海北部、東シナ海中部、太平洋北部、大島海峡の四方所。笠利湾をはじめとする東シナ海北部は、水深が浅く波も穏やかなため、海水浴やダイビングに最適なエリアだ。美



上／群れで泳ぐアイゴの子ども。100匹を超える大群になることもある。(大浜) 左下／ゴツゴツとした突起が独特なコブヒトデは、奄美大島以南に分布している。(大浜) 下右／潮の流れに揺れるイソギンチャクとたわむれるように泳ぐクマノミの子どもたち。(大浜)

奄美大島に行きたい

2013年11月5日 第1刷発行

発行元	株式会社ファミマ・ドット・コム 〒170-6012 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 12F	制作	株式会社エディング 〒162-0811 東京都新宿区水道町2-14 柴木ビル2F
発行人	吉岡琢也(株式会社ファミマ・ドット・コム)	編集	多田あゆみ・谷伸子・武井誠
コーディネート	葦原勝(株式会社ファミマ・ドット・コム)	デザイン	多田あゆみ
企画・原案	龍憲吾(アーマイナー・プロジェクト代表) 青木聡(エビックレコードジャパン代表)	写真	別府亮 山下弘 勝廣光 photolibrary
監修・協力	中孝介 (アーティスト、アリオラジャパン所属)	印刷所	株式会社ツーンネット

【この本に関するお問い合わせ先】

【電話の場合】

■本書の内容については

03-5228-3951(株式会社エディング 出版編集部)

■在庫、不良品(落丁、乱丁)については

03-5958-3819(株式会社ファミマ・ドット・コム)

【文書による本書内容のお問い合わせの場合】

株式会社エディング 出版編集部

〒162-0811

東京都新宿区水道町2-14 柴木ビル2F『奄美大島に行きたい』係

■株式会社ファミマ・ドット・コムの情報は

右記をご覧ください → <http://www.famima.com/>

<http://www.pub-famima.com/>

©famima.com 2013 Printed in Japan

本書の内容、写真などの転載、複製、複写(コピー)、翻訳を禁じます。
本書を購入いただいたお客様ご本人あるいは第三者に依頼して、デジタル化することは、
個人や家庭内の利用でも著作権法により認められておりません。

